

◎ 防除の取組

千葉県では、県内に生息するカミツキガメの根絶に向けて以下の2つの事業に取り組んでいます。

捕獲事業

印旛沼、河川、農業水路における計画的な防除

- カメ用のごとワナによる捕獲
- 冬期手探り捕獲



緊急的な捕獲個体の收容 (市町村・警察)

市民からの通報に基づき、役所や警察が收容する防除

印旛沼周辺でカミツキガメが見つかった場合



市民による発見

通報

市町村・警察

連絡

生物多様性センター



リサイクル適性 (A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

令和4年3月31日 第2版発行・令和7年3月31日改訂
編集／千葉県生物多様性センター (電話／043-265-3601)
発行／千葉県環境生活部自然保護課
mail／webmaster@bdcchiba.jp
URL／www.bdcchiba.jp/alien/kamitsuki/index.html



現在、千葉県の印旛沼とその流域には、特定外来生物カミツキガメが数多く生息しており、この地域で繁殖しています。カミツキガメは、どこからどのようにやって来たのでしょうか。カミツキガメがいることでどのような問題が生じているのか、そしてわたしたちは何をしたらよいのでしょうか。



特定外来生物 カミツキガメ

千葉県で何が起きているのか?

わたしたちにできることは

外来種被害防止三原則

侵略的外来生物による被害を予防するために (環境省)

1 入れない

悪影響を及ぼすかもしれない外来生物をむやみに日本に入れない

2 捨てない

飼っている外来生物を野外に捨てない

3 拡げない

野外にすでにいる外来生物は他地域に拡げない

●カミツキガメを見つけたら…
手を出したり捕まえたりしようとせずに、
速やかに地元の市町村役場または警察に連絡してください。



人間の身勝手によって外国から連れてこられ、日本の水辺に捨てられ、ワナで捕まえられたカミツキガメ。これ以上同じような外来生物をつくらないためにも、ペットを飼うときは責任ある行動をこころがけましょう。

カミツキガメを見つけたら

野外でカミツキガメを見つけた場合は、

手を出したり捕まえようとせずに、

速やかに地元の市町村役場

または警察に連絡してください。

! 外来生物法では特定外来生物の飼育・保管・運搬などが原則禁止となっています。危険ですので、絶対に自分では対応しないでください。

! カミツキガメを移動・運搬できるのは地方公共団体の職員と警察官が職務として扱う場合や、国の許可を得た団体や個人が行う防除だけです。

CHIBA

千葉県

カミツキガメってどんな生きもの？

目 科：カメ目カミツキガメ科
 和 名：カミツキガメ
 学 名： *Chelydra serpentina* (ケリュドラ・セルペンティナ)
 原 産 地：北米から中南米。
 北米ではカナダクワワソウ、アライグマなどが天敵。
 印旛沼流域に生息しているのは北米原産とされている。
 大 き さ：最大で背甲長約 50 cm、体重約 35 kg。
 寿 命：40 年以上。飼育下では最長 80 年。
 食 性：雑食性。甲殻類、魚類、植物など幅広く捕食。
 生息環境：河川、池沼、水田、湿地、水路などの水域。
 産 卵 期：5～6 月。上陸し、草地や畦に穴を掘って産卵。
 産 卵 数：通常 20～40 個。大きい個体では 100 個以上。
 行 動：主に水中生活だが、陸上を移動することもある。
 日光浴をすることはまれ。泥の中や横穴で越冬する。
 危険を感じると、水中では素早く逃げるが、陸上では
 かみつくなど、攻撃的な防御行動をとることもある。



おなかの甲羅は十文字、手足はひっこまない



太く、すどい爪

しっぽは長く突起がある

カミツキガメがいるといけないの？



1. 生態系への影響

大型に成長し、幅広い食性をもつカメであることから、在来種を捕食したり競合したりするなど、本来の生態系のバランスを壊してしまう。

2. 人の生命・身体への影響

捕らえられた時など、瞬時に首を伸ばしかみつく行動に出る。手を出した子どもなどにかみついた場合、大けがになるおそれがある。

3. 農林水産業への影響

営農作業中の水田等に出没したり、漁網に入り漁獲物を捕食する、網を破損するなどして、被害を及ぼす。

「特定外来生物」とは？

外来生物による生態系、人の生命・身体、農林水産業への被害を防止することを目的として、平成 17 年 5 月に「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律（外来生物法）」が施行されました。

この法律では、特に被害を及ぼす種類を「特定外来生物」として指定し、飼養・運搬・保管・販売などを規制し、野外に放つ行為を禁止しています。

現在、「特定外来生物」として、162 種が指定されており、千葉県内ではカミツキガメを含む 47 種が確認されています。（令和 7 年 2 月末現在）

これまでどんなことがあった？

日本および千葉県では…

- 1960 年代 ペットとしての輸入が盛んになる
- 1978 年 千葉県佐倉市内の河川で県内初確認
- 1990 年代後半 印旛沼流域での目撃、発見数の増加
- 2000 年 動物愛護法で「特定動物（危険動物）」に指定
- 2004～2005 年 県による生息調査実施
- 2005 年 外来生物法で「特定外来生物」に指定
- 2007 年 千葉県による防除実施計画策定、捕獲事業開始
- 2017 年 防除実施計画改定
- 2021 年 防除実施計画改定
- 2025 年 防除実施計画改定



どうして印旛沼流域で増えているの？

カミツキガメはかつてペットとして人気があり、子亀がたくさん売られていました。しかし、大型で狂暴になることから、捨てられたり、逃げられたりした結果、野外で繁殖し定着してしまいました。現在、印旛沼流域の広範囲で生息が確認されています。



孵化したばかりの子亀（背甲長約 3 cm）



他にはどんなカメがいるの？



- ① ニホンイシガメ：甲羅は平たく黄土色、後縁はギザギザ、尾は長い。
- ② ニホンスッポン：甲羅は平たく柔らかい、形はだ円形で、尾は短い。
- ③ クサガメ：頭部に黄色い複雑な斑紋がある。甲羅には 3 本の突起がある。
- ④ クサガメ（黒化個体）：成熟したオスは全身が黒くなり、模様が消滅する。
- ⑤ ミシシippアカミミガメ：頭部の両脇に赤い斑紋、甲羅には黄色や黒のしまがある。子亀はミドリガメとよばれる。
- ⑥ ミシシippアカミミガメ（黒化個体）：成熟したオスは全体的に黒っぽくなり、頭部の両脇の赤い斑紋は消失するものもある。
- ⑦ ハナガメ：側頭部にクリーム色の細い線が複数ある。子亀の甲羅には 3 本の突起があるが、左右の 2 本は成長すると目立たなくなる。
- ⑧ ワニガメ：頭は大きい、上あごはカギ状、甲羅には 3 本のはっきりした突起がある。

①②は在来種、③～⑧は外来種

★ 撮影：大島 健夫